

平成30年度 第2回能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の概要

○日 時 平成30年11月29日（木）午後2時～2時50分

○場 所 能代市役所 新庁舎3階 会議室9・10

○案 件

・数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況等について

【主な意見と対応】

意 見 等	対 応
<p>雇用創出は順調に進んでいるとあるが、基準値である26年度と今とでは有効求人倍率が大きく異なっている。雇用創出だけではなく、雇用の質についての視点も必要ではないか。</p>	<p>来年度に次期総合戦略の策定に取り組む予定としており、その中で雇用状況の分析をしながら数値目標や重要業績評価指標（KPI）の考え方等についても見直しをしていきたい。</p>
<p>産業別の雇用状況を指標とし、どのように変化しているのかを把握する必要があるのではないか。</p>	<p>次期総合戦略の策定の際には、そうした情報も収集しながら進めていきたい。</p>
<p>総合戦略の目標とするところは何か。数値目標や重要業績評価指標（KPI）は客観的な数値として評価しているが、この評価によって、改善点や見通しが見えてくるのか。</p>	<p>総合戦略は人口減少対策であり、能代市人口ビジョンでは2060年の目標人口を25,700人と設定している。人口減少対策は、様々な施策を積み重ねながら、時間をかけて取り組んでいく必要があり、総合戦略の基本目標の指標である数値目標の評価を踏まえて、改善や見直しを実施していく。</p>
<p>29年度の数値が点線を少し下回っている場合でも順調と評価している項目もあるが、数値目標や重要業績評価指標（KPI）の評価は、どのような考えに基づくものか。</p>	<p>単年度の実績の評価ではなく、これまでの推移等も踏まえて評価している。</p>

<p>能代市の出生数が減少しており、このままでは地域がなくなってしまうのではないかと危惧している。国の交付金もあると思うが、思い切った対策が必要ではないか。</p>	<p>国の交付金については、道の駅ふたついや技術開発センター・木の学校の整備等に活用しており、来年度以降も交付金の活用を視野に入れながら事業展開していきたい。</p>
<p>技術開発センター・木の学校の交付金事業は何を目的としているか。</p>	<p>技術開発センター等は、基幹産業である木材産業の振興を図るために設置したもので、木材関連業者が技術相談や、加工等の作業を行うことができる施設である。この交付金事業は、先進機械の導入による産業振興や木のまちづくりを推進していくことを目的としている。</p>
<p>基本目標ごとの総括がなければ進んでいけないのではないか。ミクロではなく、マクロで捉えることで進捗状況を把握することができるため、次回からは総括をお願いしたい。</p>	<p>来年度に次期総合戦略の策定を予定しており、その中で現総合戦略を総括し、ご意見をいただきながら進めていきたい。</p>